

環境教育 News

発信元：長野大学森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育

長野県上田市下之郷 658-1 〒386-1298

TEL 0268-39-0202 FAX 0268-39-0202

この資料はご自由にどうぞ(無料)。平成21年8月発信

[市民開放講座(無料)] 長野大学「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」プログラム
森の恵みの活用を地域の皆さんと共に学ぶ体験型野外実習を開講

「**昆虫採集**」および「**グループの雰囲気を和らげるコツ - アイスブレイキングの理論と実践 -**」

2009年8月9日(日) 7時00分～10時00分 - 大学構内「AUN 長野大学恵みの森」にて実施 -

長野大学「森の恵みクリエイター養成講座」では、2つの体験型野外実習(「昆虫採集」および「グループの雰囲気を和らげるコツ - アイスブレイキングの理論と実践 -」)を同時に開講します。授業内容は、「昆虫を誘引する手法やモニタリング調査の方法を学ぶ」および「初めて会う人たちとコミュニケーションを取り、グループの雰囲気を和らげる方法を学ぶ」のように異なります。実習の中での役割や関心の異なる学生が協働することによって、学生は新たな関心を獲得し、視野を広げることができます。また、協働のためのコミュニケーション能力を身に付けられることも、実習を同時に開講する1つのねらいです。しかも地域の小学生児童と保護者の皆さん、一般社会人の皆さんにもご参加いただきます。地域と共に学び合う環境教育プログラムでもあります。

ここまで「体験」と「協働」を重視した環境教育は、全国的にみても画期的な試みです。



【森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育とは】 この環境教育プログラム 平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」(教育GP)選定事業では、「森の恵みクリエイター養成講座」を開講し、森の恵み(生態系サービス)の利活用を通じて、地域社会の持続的な発展に貢献できる人材の育成を目指します。地域社会と相互に学び合う体験型野外実習を重視します。

左の写真は、2008年8月の「昆虫採集」の様子

樹皮剥ぎのねらい

昆虫を呼ぶ 樹皮の一部分を剥くと樹液が染み出し、クワガタムシやカブトムシなどの昆虫が集まるようになります。長野大学では、樹皮を剥く季節、幹の高さ、面積などを変えて、樹液が出やすく、昆虫が集まりやすい樹皮剥ぎの手法を研究しています。昆虫採集は、森が提供してくれる生態系サービス(恵み)の一つです。

参考 URL: 長野大学「森の生態系サービスの活用を学ぶ環境教育」とは

長野大学のホームページ: <http://gp-morinomegumi.nagano.ac.jp/>

アサヒコム教育 GP 特集のページ: <http://www.asahi.com/ad/clients/2008gp/nagano.html>

この件に関するお問い合わせ先

長野大学環境ツーリズム学部の高橋 一秋(たかはし かずあき)までお願いいたします。

TEL : 0268-39-0136(ダイヤルイン) 携帯 : 090-4379-2828 E-mail : k-takahashi@nagano.ac.jp